

2012年11月2日

株式会社損害保険ジャパン

## 本社ビル 長周期地震動対策工事の開始

株式会社損害保険ジャパン（社長：櫻田謙悟、以下「損保ジャパン」）は、事業継続計画（BCP）の一環として、本社ビル（高さ200mの超高層ビル、所在地：東京都新宿区西新宿1-26-1）の長周期地震動（※）対策工事を2012年10月から開始しました。

本工事は、超高層ビルに大きな損傷をもたらす危険性が指摘されている長周期地震動に対する耐震性能を向上させることで、今後想定される巨大地震からの影響を軽減させることを目的としており、2014年12月に完了する予定です。

（※）長周期地震動は、周期が数秒以上のゆっくりとした震動であり、震源から遠隔地まで伝わり、震動が長時間にわたって継続する特徴があります。

### 1. 工事の背景

2011年3月に発生した東日本大震災以降、今後想定される巨大地震（東海・東南海・南海地震等）発生時の長周期地震動により、首都圏の超高層ビルに被害が発生する危険性が、大きく取り上げられるようになりました。

一方で、損保ジャパンおよびグループ会社である株式会社損保ジャパン・ビルマネジメント（社長：松浪修一）は、東日本大震災が発生する2年以上前から本社ビルでの長周期地震動対策の検討を進めてきました。この結果、2012年9月に本対策の耐震性向上を目的とする構造方法について、建築基準法の規定に基づく国土交通大臣の認定を取得し、いち早く対策工事に着手することが可能になりました。

### 2. 本社ビルの概要

- (1) 所在地 東京都新宿区西新宿1-26-1
- (2) 竣工 1976年（昭和51年）
- (3) 階数・高さ 地上43階、地下6階、高さ200m

### 3. 工事の概要

- (1) 工事内容 制振ダンパーの設置（本社ビル9階～41階に348台）等
- (2) 工期 2012年10月～2014年12月（予定）

以上